

## 平成17年度協働事業提案 公開調整記録

### No. 3 出張教室からひろがる温暖化を考える会【第2回目】

と き 平成17年7月6日(水) 10:00~11:15

ところ 大和市役所会議室棟203会議室

参加者

- ・提案者：五十嵐さん・小宮山さん・鈴木さん
- ・関係課：環境総務課(目代、加藤)
- ・協働推進会議委員：平塚委員、大野委員、木之下委員
- ・事務局：市民活動課(小山、小林)

---

前回の確認事項のおさらい【事務局から確認】

【確認事項】

協働への第一歩として、団体として環境立市フェアへの参加。

協働できるところから考えて、環境総務課と提案者と一緒に環境に関する教室、啓発教室の方向で練り直した提案内容を本日調整を行う。

---

提案者

- ・協働事業することで、活動を広げるにあたっての支援者、人員の確保したい。
- ・啓発教室では、目で見ると体感する形での、新エネルギーの体験も入れたい。
- ・費用、活動場所は検討したい。
- ・将来、未来のために新エネルギーを考えてもらいたい。
- ・子どもたちに学校現場で太陽光エネルギーを利用できるもの【ビオトープのモータ】を活用して、持続して理解してもらおう。
- ・啓発という点では、そのエネルギーを使っているものを具体的に見せることが効果的。
- ・持続していくのに必要なことは、活動の継続性、数多く触れる機会を作ること。

### 【練り直し提案内容】

地球温暖化は地球全体の温度を上昇させ、近い未来に起こりうる現象となっています。これに予防措置していくのは、新エネルギーへの理解を深め、どんどん利用していかねばならないと考えます。

大和市協働事業において、その準備、人員の確保、費用、場所の確保等々、ご協力いただきたいと考えるものは下記に示しました。

1. 新エネルギーを体験してもらう為に、例えば、移動できる木に見立てた三角錐形のものにモジュールを張り、バッテリーをつなげて蓄電させて、その太陽光で集めた電気で物を動かすなど、体験できることを行いたいと考えています。費用や教室での展開をどのようにしていくかという協力点はどうか  
また、活動場所の一部として、学校、自治会、町内子ども会、敬老会等にも出向き説明、体験を進めていきたいとも考えています。
2. 企業の通勤用バスなどを借りて、新エネルギーを利用している場所への訪問（見学会）を行い、新エネルギーに関して、その取り組みの理解を深めてもらい、その利用や節電推進活動している他団体との交流や教室などを行いたいと考えていますが、協力できませんか？
3. 環境立市宣言の大和市において、新エネルギー利用をもっと考え、設置推進を図っていければ、具体的な温暖化予防をすすめていくことが出来ると考えております。その計画を具体的に立てるにあたって協議を持ちたいと思っておりますがどうでしょうか。

#### 環境総務課

- ・新エネルギーの啓発は市民に必要。
- ・今年度、新たな取り組みとして、エネルギービジョンを策定する予定。
- ・学校に授業としてアプローチしても、学校と生徒が広い環境分野の中からテーマを選んでいるので、地球温暖化のことだけをお願いしても、なかなか難しい。

【ex. ゴミ・水・新エネルギーなど】

- ・市との協働という点で、今回練り直していただいた内容でも、まだ具体性が見えない。

【今後の啓蒙活動】

- ・8月1日に大和市かんきょうノートを配付。2週間の取り組み。家庭向け。
- ・エネルギービジョン策定。
- ・環境立市フェア

#### 協働推進会議委員

- ・より具体的で担当課が把握できるプランがないと協働の糸口が見えない。

事務局（市民活動課）

- ・協働事業は、条例に基づいて対等な関係で進めてるもの。
- ・どういった部分で市が協働として考えられるかという点が、見えない。
- ・やはり、担当課と一緒にやろうとするプランがないと、対等な立場でイメージするまでに至らない。

**【確認事項】**

= 練り直された提案内容について、検討した結果 =

- ・本日、練り直された提案内容がより具体的に展開されていないため、協働事業まで発展できない。
- ・今後は、提案者に環境関係のイベントに参加して頂き、情報交換等を行って行く。
- ・7月17日の公開検討会で、実施してきた二回の公開調整の内容を説明する。

**【記録者：市民活動課 小林】**